



EDOGAWA
SOGO JINSEI DAIGAKU

江戸川総合人生大学 入学案内2021

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

「江戸川総合人生大学」って？

「江戸川総合人生大学って？」と思っているみなさまへ

この度は江戸川総合人生大学入学案内2021を手にとっていただきまして誠にありがとうございます。

「江戸川総合人生大学」とは、“地域の課題を学び、学習成果を地域で実践したい”という方を応援するため、2004年に江戸川区が設立した大学です。

※学校教育法で定める正規の大学ではありません。

人生大学で学ぶために学歴や年齢は関係ありません。それぞれの職歴や人生経験、これまで培った知識などを持った多種多様な方が同じクラスで学び・意見を出し合い、それぞれの生きがいや仲間を見つけていく。そんな人生大学での出会いは小学校や中学校などでは体験できない醍醐味の一つとも言えます。

自分と異なる立場の方からの話はとても勉強になります。人生大学での学びはそれぞれの関わり方で成り立っており、それが自分に合ったカタチとなって地域貢献へとつながっていきます。

この入学案内ではほんの一部ですが、人生大学の学びについて紹介しています。ぜひこの機会にご自身の「やってみたい！」をカタチにするため、人生大学と一緒に学んでみませんか？



大学の基本理念（建学の精神）

「共育」「協働」の社会づくり

総合人生大学は、区民が地域の課題を発見・認識し、その解決に向けて互いに知恵を出し合い、社会貢献へとつながられる学びのシステムをつくり、こうした住民に支えられる「共育」「協働」の社会をめざします。

「ボランティア立区」の推進

総合人生大学での学びの中心は実学です。ひとりでも多くの方が、学びの成果を地域に活かしていくことで、区民の活動に支えられる「ボランティア立区」の実現につなげていきます。

「地域文化」の創造と継承

総合人生大学は、江戸川区固有の産業、歴史、自然等の学びを通して、地域を理解し、地域の新しい文化を創造するとともに、その魅力や誇りを次代に継承していくことをめざします。

総合人生大学の歴史

2002年 7月 『江戸川区長期計画 えどがわ新世紀デザイン』に基づく『江戸川区基本計画』の中で「江戸川総合人生大学（仮称）」を提唱

2003年 1月 江戸川総合人生大学構想検討会 発足

10月 江戸川総合人生大学設立準備委員会 発足

2004年 7月 設立準備委員会が「江戸川総合人生大学構想報告書」を江戸川区に提出

8月 第1期生入学募集開始

10月 江戸川総合人生大学 開学

2005年 8月 大学ホームページ 開設

9月 PCサポートの会発足

2006年 9月 第1回江戸川総合人生大学祭 開催

2007年 4月 情報紙 ひと・あい・えどがわ 創刊

2008年 4月 江戸川総合人生大学同窓会 設立

7月 しのぎ文化プラザへキャンパスを移転

2009年 4年 江戸川総合人生大学文庫 開設

2014年 10月 開学10周年記念式典 開催

2018年 11月 地域活動グループ紹介冊子「ゆいまーる」創刊

2019年 5月 企画展示「私のまち、私たちの大学。」開催



人生大学の学びから見出す

「意識づくり」と「生きがいづくり」

みなさん、最近SDGsという言葉をよく目や耳にしませんか。

これはSustainable Development Goalsの略で「持続可能な開発目標」という国連が定めた目標です。持続可能な開発とは「将来の世代の発展欲求を満たしつつ、現在の世代の発展欲求を満足させるような開発」という意味です。簡単に言えば「子や孫がかわいいので我々は我慢しよう」という事でもなく、また「子や孫なんて関係ない、我々だけが発展すればよいのだ」という考えでもありません。「私たちが発展しながら、次の世代も発展できるように配慮する」という事です。ここに示されている17の目標は地球市民として、また将来世代への責任として、私たちは何を考え、そして何をすべきかの案内です。

江戸川区ではSDGsに積極的に対応するため、新たな組織「SDGs推進部」を作り活動を始めます。江戸川総合人生大学でも従来の授業内容に新たにSDGsの視点を加えたカリキュラムで対応します。私もSDGsの全体像、個々の目標そして区民として私たちは何をしたらよいのかについての講義を担当します。私の願いはSDGs対応で江戸川区が日本をリードする自治体になることです。

しかし日本をリードするためには自治体だけの力では成り立ちません。区民一人ひとりがそれぞれの目線でSDGsを意識し、行動していくことが重要です。そのための手がかりとして江戸川総合人生大学で自分には何ができるかを学習の中で見出し、地域のリーダーとして活躍していただければと思います。

また江戸川総合人生大学での学びは皆さんの生きがいづくりにも大いに役立ちます。学習の中で自分自身のやりたい事や一緒に活動する仲間を見つけ、それぞれに合った生きがいを探してみませんか？

皆さんと一緒に学べることを楽しみにしております。



学長

北野 大

<プロフィール>

東京都生まれ。明治大学工学部を卒業。東京都立大学大学院工学研究科で博士課程修了し、分析化学で博士号を取得。淑徳短期大学教授、淑徳大学教授、明治大学、同大学院教授を歴任。2004年から江戸川総合人生大学学長、2017年からは秋草学園短期大学学長、2019年から明治大学校友会会長に就任。工学博士。

地域デザイン学部
江戸川まちづくり学科

江戸川区を誰もが暮らしやすく、安心して住み続けられるまちにするために、自分たちにできる取り組みについて考えていく学科です。



学びのポイント（1年次）

POINT
01

まちを見る多様な視点を学び、まちの魅力や課題を発見する

「発見する」方法を学ぶ

まちづくりでは、現場の状況を調査し把握するフィールドワークがとても大切です。このため、いろいろな地域に出向き、多様な視点から江戸川区について勉強します。また単に環境を見るだけでなく、地域で活躍している方々の取り組みも見聞します。これらの実感の中からまちの魅力や課題を発見します。

POINT
02

アイデアを出し合い、同じ目的に向かって力を合わせていく

「協働する」方法を学ぶ

まちづくり活動は多くの場合一人ではできません。協力して動くことが必要で、これを縦型の組織ではなく、横のつながりの中でどのように行うかグループ活動を通じて経験から学びます。

POINT
03

自分の思いを整理して、伝え、理解してもらう

「伝える」方法を学ぶ

まちづくり活動では、地域に住む多くの人たちに共感してもらうことが重要です。このためには思いを伝える必要があり、授業の中の様々な発表機会、ノウハウを学びます。



学科長

佐谷 和江（さたにかずえ）

まちづくりコンサルタント
（株）計画技術研究所 代表取締役

専任講師（1年次担当）

竹迫 和代（たかばかずよ）

ファシリテーター
参画はぐくみ工房 代表



江戸川区を誰もが暮らしやすく、安心して住み続けられるまちにするために、2年間かけて「自分に何ができるか？」を考えていく学科です。防災、交通、住まい、みどりや水辺、歴史・文化、景観、ご近所づきあいなど、いろいろな視点から江戸川区を再発見していきます。また授業はアクティブ・ラーニングと呼ばれる能動的な学習が中心で、課題研究や討論、発表などを通じて楽しく実践的に学んでいきます。

江戸川まちづくり学科の主な授業（1年次）

入学

10月

ボランティア・市民活動の現場訪問

地元、江戸川区について勉強する時間です。学生の皆さんに地域に出てもらい、地域で活躍している方々と意見交換等の取り組みを通して、自分が市民活動のテーマとして取り組んでみたいと思う「江戸川区の魅力や課題」を探っていきます。

12月

行政が進めるまちづくりから学ぶ

行政が進める安全で誰もが住み続けられる持続可能な都市づくりの学びを通じて、今後の自らが取り組みたい課題を探るきっかけをつかみます。

1月

聴く・話す・表現するのスキルアップ

5コマの授業を使い、学生同士が互いの主張を認め合いながら学び合うために必要な考え方、具体的なスキル「コミュニケーションの基本」「ラベルワーク」「ファシリテーショングラフィック」について実践を通して学びます。また「篠崎駅周辺のまちを知る・見る」をテーマに篠崎駅周辺をグループでまちあるきし、普段とは違う見方でまちを歩くことの面白さを体感します。

4月

「地域の課題」フィールドワーク

学生各自が、江戸川区のまちについて「知りたいと思っていること」「気になっていること」あるいは「こんなことできたらいいなと思っている地域貢献のイメージ」等を個人で調べ発表する、1年次のまとめ作業です。

6月

「地域の課題」発表会

学生各自が自分の住む地域や江戸川区全体に対して「気になっていること」「関心のあること」について独自に調べたことや考えたことを発表・ディスカッションします。

2年目の学習

最終年度にあたることを意識し、卒業後の社会貢献活動の展開に結びつく「実践的な学び」を行います。特に「社会貢献活動の企画力の向上」「区と協働のまちづくり」「組織づくりやネットワークづくり」に重点を置いたプログラムです。最終的には、卒業後の社会貢献活動につながる「卒業研究」を実施し、発表します。

教えて先輩！学びのイメージ

能動的な授業が印象的でした。

定年を迎える頃、何か学んでみたいと考えていた時に広報などがわで見た大学祭へ参加。その時見た学生のいきいきとした姿に私も参加してみたいと思って入学しました。授業は座学中心のイメージを持っていましたが、実際は区内各地へのフィールドワークやグループワークが中心で能動的な学習がとても印象的でした。また区内各地へ行くことで地理的な見聞も広がり、江戸川区をもっと知りたくなりました。

江戸川まちづくり学科 第16期生
樋渡 利枝子さん



地域デザイン学部 国際コミュニティ学科

地域における多文化社会や国際コミュニティ構築の可能性を考察します。

また私たちの文化だけでなく、異なる文化に対しても理解を深め、多文化化する地域社会における、多様な言語・文化背景の人々との共生・共育、対話や協働のあり方についてSDGsの観点も踏まえて考えていきます。



学びのポイント（1年次）

POINT

01

自らの言語や文化をあらためて見つめなおす

日本人とその言語、文化の成り立ちを学ぶ

世界における日本語・日本文化の位置付けを概観します。また共生社会における日本語の位置付けの多様性について確認し、その「言語」「文化」的特徴や変遷（歴史）を振り返り、自分自身の「言語史」についても考察します。またその歴史の蓄積を踏まえながら、将来のグローバル化のあり方も視野に、SDGsの観点から、江戸川区内の多文化理解の重要性と共生社会構築の可能性を考えます。

POINT

02

在住外国人に寄り添う

在住外国人の課題を学ぶ

多様性やSDGsの観点から、在住外国人を取り巻く課題について考えます。また複言語・複文化社会の先にある終活や介護等の課題について触れながら、対応方策についても展望します。

POINT

03

江戸川区をより暮らしやすいまちに

多文化共生を考える

江戸川区をはじめ日本に移住してきた人々の現状を把握し、SDGsの観点から国籍や言葉、文化の違いなどの多様性（ダイバーシティ）を認め、尊重しあう「多文化共生社会」の必要性を学びます。



学科長

野山 広（のやまひろし）

国立国語研究所 日本語教育研究領域 准教授
（一社）多文化社会専門職機構 代表理事

江戸川区をより暮らしやすいまちにするために、自分にできる取り組みについて考えていきます。特に1年次は「改めて自分自身を知る」「江戸川区（地域）を知る」「共に学ぶ仲間が居ることの意味（重要性）を知る」ということを中心に授業を展開します。

主な講師

- ・インディラ・バット（江戸川インド人会 副会長）
- ・ジョージ・W・ギッシュ（青山学院大学 名誉教授）
- ・田辺 邦子（学校法人深堀学園外語ビジネス専門学校 非常勤講師）
- ・新居 みどり（特定非営利活動法人国際活動市民中心 コーディネーター）（ほか）

国際コミュニティ学科の主な授業（1年次）

入学

10月	日本の言語・文化史と自分自身の言語史	世界における日本語・日本文化の位置付けを概観します。また共生社会における日本語の位置付けの多様性について確認し、その「言語」「文化」的特徴や変遷（歴史）を振り返り、自分自身の「言語史」についても考察します。
11月	日本文化史における仏教伝来の意味を音楽から感じる	日本文化史における仏教伝来の意味について、音楽という観点から考えます。具体的には、仏教伝来の流れと共に、シルクロードを通して「声明（しょうみょう）」が伝わり、日本音楽の源流となっていることを学び、その演奏を体感します。
12月	多様性（ダイバーシティ）から見た多文化共生社会	多様性の観点やSDGsの観点から、多文化共生社会について考えます。ジェンダー（社会的性別）とエスニシティ、日本社会における多様な人々が学ぶ権利、夜間中学や識字（リテラシー）教育、「読み書き調査」の戦後史などを概観します。 また江戸川区内にも多く在住する中国語圏出身の方や「江戸川インド人会」というコミュニティを形成しているインドの方から日常生活の違いや教育に関する課題などについて話を伺いつつ、共生・共育のあり方について考えます。
3月	形成的フィールドワークの実践	形成的フィールドワークの意義を知り、実践することで多文化共生についての課題発見し、その課題をワークショップで整理していきます。
6月	学びの発表／まとめ	入学してからこれまでの感想やフィールドワークの成果を発表します。また1年間の成果を振り返るとともに、2年目の課題研究に向けてのワークショップを行います。

教えて先輩！学びのイメージ

2年目の学習

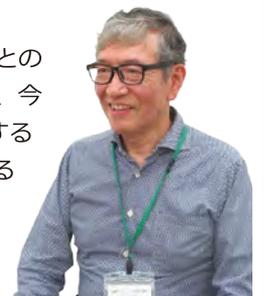
1年目のフィールドワークで対話の意味を確認するとともに、協働して行うプロジェクトチームへとさらに発展させ、各自が発見した課題についてチームで研究し、その成果を発表します。さらに、学びの成果について社会活動体験を通じて実証し、今後の自らの実践活動にどう結びつけるか、試行錯誤しながら（SDGsの観点から）、国際コミュニティ（共生社会）をどのように培っていくか、知恵を出し合い、考えていきます。

私の価値観が180度変わりました！

元々音楽関係で仕事をしていた私の趣味は音楽関係のものばかりでしたが、人生大学の卒業生が外国人の子どもにも日本語を教えているのをテレビで偶然見て、私にもできるのではないかと興味を持ち入学を決めました。

授業で学科長に紹介された参考図書が人とのつながりを改めて考えるきっかけとなり、今では日本語ボランティアを2つ掛け持ちするほどに。自分の価値観を180度変えられる授業が人生大学にはありました。

国際コミュニティ学科 第16期生
原 豊さん



人生科学部
子育てささえあい学科

乳幼児から中学生くらいまでの子どもを念頭におき、子育ての意義や課題等について理解を深めるとともに、子どもの豊かな成長をささえる学びをとおして、信頼にあふれた地域づくりを目指します。



学びのポイント（1年次）

POINT
01

子どもは地域との関わりあいの中で成長する

子育てを取り巻く環境を考える

時代の変化とともに子育て環境は変わってきました。そうした変化の背景にあることを考えつつ、現代の子育て環境がもつ好ましい点と改善すべき点を理解し、子育てをより良い方向に促していくための方策や取組みについて様々な視点から考えます。

POINT
02

現代の子どもが抱える諸課題とは

子どもの育ちを考える

子どもの成長にとって親・保護者や友人、また学校や地域はいかなる意味を持つのかについて考えるとともに、引きこもりや発達障害あるいは虐待など、現代の子どもをめぐる様々な課題について専門的な見地から理解を深めます。

POINT
03

子育て支援活動の実際を知り事業などを企画する

ささえる力を培う

地域の人たちが子育てに関わることはどのような意義や課題があるのか考えつつ、子育て支援活動の実態把握やイベントの企画実施をとおして、子育てをささえる活動を実現するための企画力や実践力を培います。



学科長

笹井 宏益 (ささいひろみ)

玉川大学学術研究所
高等教育開発センター 特任教授

子どもを取り巻く環境が大きく変化した現在、子どもの豊かな成長を実現するためには、親・保護者はもちろん、多くの人たちが、子どもに関わり、ささえあうようになることが大切です。この学科では、子育て環境の変化に着目しつつ、現代の子どもや子育てが抱える様々な課題について理解を深めるとともに、子どもの豊かな成長や子育てをささえるための実践力を培います。

主な講師

- ・ 友野 清文（昭和女子大学総合研究センター 教授）
- ・ 入江 優子（東京学芸大学児童・生徒支援連携センター 准教授）
- ・ 藪田 薫（認定特定非営利活動法人育て上げネット 執行役員）（ほか）

子育てささえあい学科の主な授業（1年次）

入 学

10月

子育てを取り巻く環境を考える

栄養の改善など子どもが健康的に成長するための環境は整ってきた一方で、遊び場や遊ぶ時間の減少、スマホの普及、貧困や格差の拡大など子どもの成長発達に悪影響を及ぼしかねない事象も広がってきています。こうした状況を踏まえ、現代における子育て環境の特徴を理解し、より良い子育てを進めていく上で望まれる環境の創出について学びます。

12月

子どもの育ちについて理解する

乳幼児から中学生くらいまでを念頭におき、子どもが成長していくプロセスを踏まえて「自立」「仲間」「遊び」「食」など子どもの成長と密接な関係がある事象について、いくつかの事例を交えつつ、子どもの育ちにおけるそれらの意義・役割などについて学問的な知見を学びます。

1月

子どもや親子関係をめぐる現代的な課題を理解する

「ひきこもり」や「孤立」「貧困」など現代の子どもは様々な課題を抱えています。また親子関係をめぐって虐待やネグレクトなど深刻な問題も少なからず生じています。SDGsなど地球規模の課題も含めて現代の子どもや親子関係が抱えている諸課題について、社会的背景などを考察しつつ、それらの解決の方向について考えます。

4月

子育て支援活動の実際を知る

「子育てひろば」や「すくすくスクール」あるいは地域のNPOやボランティアグループなどによる取組みなど、地域では様々な子育て支援活動が展開されています。これらの現状を把握し、その意義や役割、抱えている課題などについて学びます。

6月

子育てをささえるための実践的能力を培う

フィールドワークや大学祭の実施に際して、具体的な活動内容などについて学生同士で検討、企画、共同作業をすることをおして、子育て支援にかかる活動をより良いものにするための実践的能力を培います。

教えて先輩！学びのイメージ

2年目の学習

1年目に学んだことをもとに、さらに発展的な内容を学んだり、応用的な能力を身に付けたりします。2年目の最後には、入学当初からこれまでに学んだことを振り返り、そこで得られた知見を整理し定着させるための「まとめ」の作業をします。

自分の経験を超える学びに驚き！

子育てが一段落し、今後の人生で何ができるのだろうと考え直した時、人生大学のことを知り「ココだ！」と思い切って入学しました。授業は子育ての経験もあったことからイメージがつくと思っていましたが、いざ学んでみると知らないことが多くて毎回とても新鮮。普段は興味のある事ばかりを選んで学ぶので、授業として強制的に学ぶことがかえって知識の幅を広げていると思います。またクラスメイトの年齢が幅広く色々な考え方があって良い刺激となっています。

子育てささえあい学科 第16期生
佐藤 知子さん



人生科学部
介護・健康学科

誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域全体で取り組むことが求められています。自分の住む地域にどんな問題があるか、それを解決するためにどう活動したらいいかということを考えていきます。



学びのポイント（1年次）

POINT
01

超高齢社会を生きる

地域における自分の役割について学ぶ

日本は2007年に超高齢社会に突入しました。今後も高齢化率は高くなると予測されています。この学科では超高齢社会の現状を学び、それを支えるための自治体の取り組みや自分自身の役割は何かについて学んでいきます。

あわせて、今後の人生を豊かに生きていくための介護予防について学びます。

POINT
02

多様化する高齢者問題とは

課題と解決のヒントを探す

超高齢社会の様々な課題、また新たに発生する課題について学び、それを解決するための具体的なヒントを探していきます。

POINT
03

地域と共に生きる

地域で暮らし続ける

誰もが住み慣れた地域社会で人生の最期まで共に暮らし続けることができるよう、人生大学の学びの中から、自分に何ができるか考えます。



学科長

柏女 霊峰（かしわめ れいほう）

淑徳大学総合福祉学部 教授

淑徳大学大学院 教授

日本は諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。江戸川区においても高齢化率は年々増加傾向にあります。介護保険制度は超高齢社会を支える公的な制度ですが、それだけではご自身の住む地域は支えきれません。この学科で超高齢社会を乗り切るためのヒントを見つけてみませんか。

専任講師（2年次担当）

鶴岡 恵子（つるおか けいこ）

特定非営利活動法人コラボえどがわ 理事長



介護・健康学科の主な授業（1年次）

入学

10月

超高齢社会と介護保険制度

超高齢社会が抱える諸問題を学ぶとともに、高齢者がいつまでも元気で生き生きと暮らしていくためには何が必要かを考えます。また高齢者の健康とは何かを学びます。あわせて介護保険制度の概要、区の手配などについて学びます。

11月

介護予防の重要性

介護保険制度施行後、介護予防の認知度・重要性が明確に高まりつつあります。ここでは介護予防に有効な様々な取り組みについて学びます。

1月

地域の課題と解決のヒントを探す

誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域全体で取り組むことが求められています。自分の住む地域にどんな問題があるか、それを解決するためにどう活動したらいいかということを考えていきます。

主なテーマ

■ 認知症を地域で支える

医療・介護・認知症サポーターなど、地域ぐるみで認知症の方を支える取り組みを学びます。

■ 老いの住まい・暮らし

特別養護老人ホームや地域密着型サービスなどの現状を学びます。

■ 家族を支える

介護する家族の置かれている現状と支援について学びます。

■ 多様化する高齢者問題

在住外国人の高齢者を地域でどのように支えていけるかを考えます。

■ 地域デビュー

ボランティアの役割、地域活動の数々の実例を学びます。

6月

1年間のまとめ

1年間の学びを振り返るとともに、大学祭での学習成果の発表について意見交換を行います。

教えて先輩！学びのイメージ

2年目の学習

2年次では、1年次の学びを地域に活かしていくために、江戸川区の現状にあてはめて展開していきます。そのために制度や支援機関、および地域で活動するボランティアの状況から江戸川区の特性を把握し、地域住民にとって不足していることはなにか、また必要としていることはなにかを考え、実践に結び付く学習をします。そして学びの集大成として卒業研究の発表を行います。

共に学ぶ楽しさや人とのつながりに愉悦感。

仕事の定年を迎え、残された人生をどうするか考えたときに近所で行っていた大学祭で人生大学の魅力を感じ、入学を決めました。入学前はカルチャースクールのようなイメージでしたが、実際に授業を受けてみると内容は本格的。戸惑いながらも自分が知らなかったことを同級生と一緒に学ぶことで、徐々に自分の意識が変わっているのを感じました。また今は大学祭実行委員となり学科を超えた新しいつながりに喜びを感じています。

介護・健康学科 第16期生
山口 保さん



共通基礎科目 社会活動体験

1年次は専門科目（基礎研究）と共通基礎科目（必修・選択）を学び、知識と経験を高めます。2年次は専門科目（課題研究）と社会活動体験を通じて課題認識を深め、実践力を高めます。



えどがわ入門

授業 Aコース（木曜日） 14時～16時 / Bコース（土曜日） 10時～12時

江戸川区におけるSDGs・まちづくり・環境・教育・子育て・福祉・産業など様々な角度からテーマを取り上げ、江戸川区の関連部署より講師を招き、現状と課題これからの対策について理解を深めていきます。

【講師】北野 大（江戸川総合人生大学 学長）・江戸川区長・区職員（ほか）

地球環境を考える身近な活動

授業 水曜日 10時～12時

わたしたちを取り巻く自然を実際に現場に出て観察したり、生態系について理解を深めながら地球環境について考えていきます。また自然エネルギーの仕組みや日々の生活で取組むことのできるエコ活動についても考えていきます。

【講師】北野 大（江戸川総合人生大学 学長）
岡島 成行（青森山田学園 理事長）（ほか）

くらしと健康

授業 木曜日 14時～16時

身体とこころの健康、日々の暮らしとの関係を学ぶ授業です。基礎編では医師や各専門家を講師に人の身体やこころの健康、食事と栄養の関係、口腔ケアなどを考えます。また実用編として運動の仕方や救急救命法なども学んでいきます。

【講師】医師・臨床発達心理士・管理栄養士（ほか）

みんなで創る安全・安心

授業 水曜日 14時～16時

日々安心して暮らしていくためには？江戸川区の現状や地域に潜む課題について、防犯・防災の視点から学び、安全で安心なまちづくりを創造していきます。

【講師】山本 俊哉（明治大学理工学部 教授）（ほか）

カウンセリングの基礎

授業 Aコース 月曜日 9時15分～11時15分

Bコース 水曜日 9時30分～11時30分

仕事や人間関係、家族関係のこと。人がこうした悩みや問題に自分らしい方法で向き合うことができるようになるために寄り添い、手助けをする「カウンセリング」。「自分自身を知る」「傾聴」を中心に、日常の様々な場面で活かせるカウンセリングの技法を実習を通して身につけます。

【講師】諸富 祥彦（明治大学文学部 教授）（ほか）

社会活動体験（体験学習プログラム／2年次）

自分自身で40時間の地域活動やボランティア活動を企画したり、実際に活動している団体の活動を体験したりします。この科目は総合人生大学での学習を地域活動と結ぶものとして、ボランティア活動を実際に体験し実践能力を高めたり、現場のニーズを理解するために実施しています。

授業概要

1年次の授業は専門科目・共通基礎科目あわせて年間60回程度となります。なお選択する学科や科目、授業の実施時期により異なりますが概ね週3～4回です。

2年次の授業は専門科目が年間30回のみのため週1回程度となりますが、授業のほかにも年間40時間の社会活動体験、課題研究のための自主的な学習やグループ研究などを行います。



年間の授業スケジュール（1年次）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
専門科目（まち・国際・子育て・介護）	■									大学祭 7月下旬開催予定			
えどがわ入門	■												
みんなで創る安全・安心					■								
地球を考える身近な活動	■												
くらしと健康					■								
カウンセリングの基礎A			■										
カウンセリングの基礎B							■						

学科（コース）別の授業数と単位数

学科（コース）にはそれぞれ単位が設定されており、卒業するには24単位の履修が必要となります。

なお専門科目（学科）必修科目、選択科目は希望者が多数になった場合、抽選になることがあります。

科目	学科（コース）	1年次		2年次	
		授業数	単位数	授業数	単位数
専門科目	江戸川まちづくり学科	30回	6単位	30回	8単位
	国際コミュニティ学科				
	子育てささえあい学科				
	介護・健康学科				
共通基礎科目	えどがわ入門Aコース（木曜）	12回	2単位	—	—
	えどがわ入門Bコース（土曜）				
	みんなで創る安全・安心	10回	2単位 × 2科目		
	地球環境を考える身近な活動				
	くらしと健康				
カウンセリングの基礎					
	社会活動体験	—	—	40時間	4単位

充実した キャンパスライフ

人生大学では、充実した学生生活を送っていただくために、多様な授業方法や宿泊研修・特典などもご用意しております。ぜひご活用ください。



オンライン授業

人生大学での授業は基本的に対面授業を実施しておりますが、ご予約があつたり体調がすぐれない、子育てをしていて外出できないなど、諸事情により対面授業が困難な方への対応策として一部オンラインでの授業参加も認めています。

オンライン授業への参加はオンライン会議用ソフト「Zoom」が使用できる環境が必要となります。

宿泊研修旅行（11月4日～11月5日）

えどがわ入門in穂高（申込制／バスツアー）

人生大学に入学すると「同級生になかなか声をかけられない」「どんな人がいるか不安」などの悩みや不安が出てくると思います。そんな悩みや不安を解消し、より一層学生間の親睦を深める事業として宿泊研修旅行を予定しています。行先は江戸川区と友好都市盟約を締結している長野県安曇野市。北アルプスを望む自然豊かな安曇野市を同級生と一緒に楽しく堪能しながら江戸川区および安曇野市を学びます。

なお宿泊先は、江戸川区民の別荘「穂高荘」を予定しています。

※旅行費の一部は助成されます

※新型コロナウイルスの感染状況によっては実施が変更となる場合もあります。

人大学割

人生大学のキャンパスしのぎき文化プラザ内「伝統工芸café アルティザン」での飲食メニューの20%割引を始め、タワーホール船堀（船堀4）に併設する飲食店で学割が使えます。なお割引は各店舗によって異なりますので下記の一覧をご参照ください。

※割引を利用する際は人生大学から発行する「学生証」の提示が必要となります。

人大学割 利用可能施設（店舗）

しのぎき文化プラザ

伝統工芸Café アルティザン 飲食メニュー20%オフ

タワーホール船堀

船堀シネパル 800円で鑑賞

キャラバンコーヒー 飲食メニュー10%オフ

つきじ植むら ソフトドリンク1杯サービス

サロン・ド・サロン ソフトドリンク1杯サービス

募集概要

募集期間

令和3年7月1日（木）～8月13日（金）

募集学科 4学科のうち1つを選択	地域デザイン学部	江戸川まちづくり学科
		国際コミュニティ学科
	人生科学部	子育てささえあい学科
		介護・健康学科
募集人数	各学科25名程度 合計100名	
申込資格	以下の2つの条件に該当される方 ■江戸川区内に在住・在勤・在学の方 ■2年間継続して学ぶことができ、卒業後に学習成果を地域活動やボランティア活動等で実践する意欲のある方 ※年齢制限はありません。 ※外国人の方も可能です。ただし日本語による授業のため、日本語の理解や日本語でのコミュニケーションが可能な方に限ります。	
修学期間	令和3年10月～令和5年9月の2年間	
授業料	年間 3万円 ※2年次の授業料は進級決定時に納入していただきます。	
会場	しのぎ文化プラザ3階講義室 ※外出の講義もあります。	
申込受付期間	令和3年7月1日（木）～8月13日（金）※当日消印有効	
申込方法	本誌の巻末に添付している入学願書に必要事項を記入し、総合人生大学事務局へ郵送、または持参してください。またホームページ上からの出願も可能です。	
入学者の決定	書類選考のうえ決定します。申し込みが定員を超えた場合は抽選を行います。抽選の場合、8月下旬に抽選会実施の連絡を対象学科の出願者全員に郵送にて通知いたします。抽選が無い場合は入学決定通知書を郵送で送付いたします。	
入学手続き	入学決定通知書とともに、入学関係書類・授業料納付書を送付いたします。定められた期間内に、初年度分の年間授業料（3万円）を江戸川区指定の金融機関へ納入してください。入金の確認をもって、入学手続きの完了とします。	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・他学科との併願はできません。 ・共通基礎科目や専門科目だけの受講はできません。 ・学校教育法等で定める正規の大学ではありません。 	
お問い合わせ 入学願書送付先	江戸川総合人生大学事務局 〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19 しのぎ文化プラザ 【TEL】 03-3676-9075 【FAX】 03-3676-6545	

令和3年度 江戸川総合人生大学
入学願書

受付番号	—
------	---

※記入しないでください

江戸川総合人生大学 学長 様

江戸川総合人生大学に入学したくお願いいたします。

令和3年 月 日

入学希望 学科 (希望学科に○)	江戸川まちづくり学科	<input checked="" type="radio"/>	子育てささえあい学科
	国際コミュニティ学科	<input type="radio"/>	介護・健康学科
フリガナ	ジンダイ イチロウ		生 年 月 日
氏名	人大 一郎		19〇〇 年〇〇 月〇〇 日 (西暦)
住所	〒 133 - 0061 江戸川区篠崎町 7-20-19 ※アパート・マンション名、部屋番号もご記入ください。		
連絡先	自宅電話	(03) 3676 - 9075	
	携帯電話	(090) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇	
	E-mail (携帯電話メール)	〇〇〇〇〇〇〇〇〇 @ 〇〇〇〇〇〇〇〇	
勤務先 (学校)	※江戸川区以外にお住まいの方は、区内勤務先(学校)をご記入ください。 名称： 住所： 電話： () —		
動機	入学したいと思った動機や目的を400字程度でご記入ください。		
(→裏面へ続く)			

令和3年度 江戸川総合人生大学
入 学 願 書

受付 番号	—
----------	---

※記入しないでください

江戸川総合人生大学 学長 様

江戸川総合人生大学に入学したく出願いたします。

令和3年 月 日

入学希望 学科 (希望学科に○)	江戸川まちづくり学科	子育てささえあい学科
	国際コミュニティ学科	介護・健康学科
フリガナ	生 年 月 日	
氏名	(西暦) 年 月 日	
住所	〒 — ※アパート・マンション名、部屋番号もご記入ください。	
連絡先	自宅電話	() —
	携帯電話	() —
	E-mail (携帯電話メール)	@
勤務先 (学校)	※江戸川区以外にお住まいの方は、区内勤務先(学校)をご記入ください。 名称： 住所： 電話：() —	
動機	入学したいと思った動機や目的を400字程度でご記入ください。	
(→裏面へ続く)		

(→表面より)

入学にあたって、大学事務局に伝えておきたい事がありましたらご記入ください。
(身体面などで心配な事など)

事務局記入欄

※記入しないでください

地区コード	受 付
	月 日

申込方法

持参・郵送での出願

STEP 1 入学願書を記入

本誌に添付されている「入学願書」に必要な事項を記入。

STEP 2 入学願書を持参

記入した入学願書をしのぎき文化プラザ内の人生大学事務局へ持参してください。不明な点はスタッフへお尋ねください。その場での記入・出願も可能です。

STEP 3 入学願書を郵送

人生大学事務局までのご持参が難しい方は郵送での出願も可能です。

※ 郵送料はご負担ください。

WEB（インターネット）出願

STEP 1 WEB出願サイトへアクセス

WEB出願専用フォーム

<https://www.sougou-jinsei-daigaku.net/contact>
へアクセス。

ご利用にあたってはメールアドレスが必要となります。スマートフォンからのアクセスも可能です。右上のQRコードからの申し込みも可能です。

出願専用QRコード



STEP 2 必要事項を入力し送信

必要事項を入力し、入力内容を確認後に送信ボタンを押して出願完了です。

出願後は？

8月下旬

結果通知書の発送

申込期間終了後、申込みの結果を申込者全員に郵送で通知します。入学者には入学決定通知を送付いたします。

9月中旬

授業料の納付

入学決定通知と同封の「授業料納付書」で期日までに指定金融機関でお支払いください。支払い完了後、入学手続きは終了です。

10月6日（水）

第17期生入学式／入学ガイダンス

日時：2021年10月6日（水）午後2時～
場所：しのぎき文化プラザ講義室
入学式終了後、入学ガイダンスを行います。

よくある質問

Q. 子育てや介護、パートをしている人でも大丈夫ですか？

A. 大丈夫です。ただし人生大学では1年次、週3～4日通う場合もあります。対面授業が基本ですが、オンライン授業などの受講も可能な場合もありますので事前にご相談ください。

Q. 在学中に何か資格が取れますか？

A. 就職などに活用できる資格取得カリキュラムはありません。普通救命講習や認知症サポーターなど生活に密着した養成講座の開催はあります。

Q. テストはありますか？

A. テストはありません。学んだことを発表していただくことはありますが、内容によって評価されることはありません。

Q. 卒業後は必ずボランティアに参加しなければいけませんか？

A. ボランティアへの参加は個人の判断にお任せしております。学習成果をどう活かすかは様々なカタチがあると思いますので、それぞれのカタチで表現してください。



もっと詳しく人生大学を知りたい方は！

人生大学ホームページ

10月からのシラバス（授業計画）がご覧になれます。また公開講座や大学祭など人生大学の情報や在校生が作った情報紙、卒業生の活動などをトピックスで掲載しています！

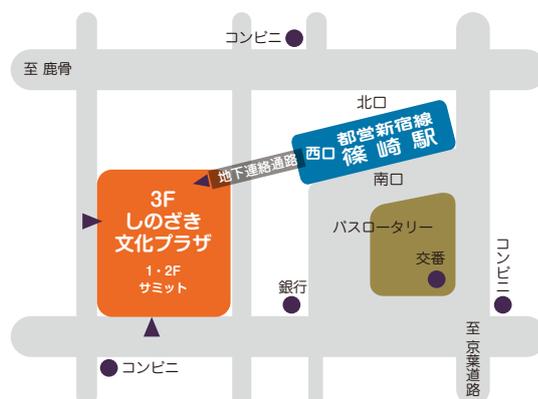
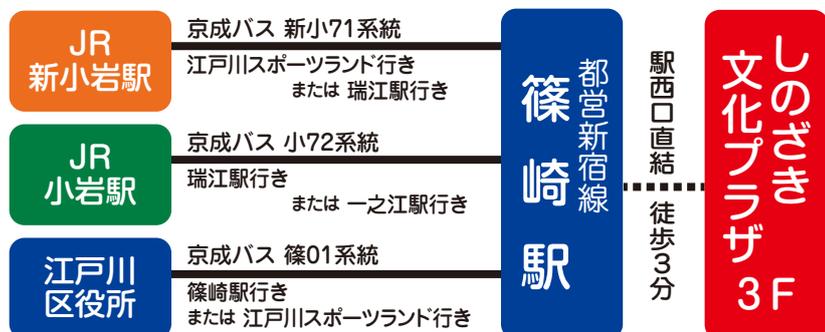


人生大学YouTubeチャンネル

学長による大学紹介や学科長の学科紹介、在校生や卒業生の活動の動画などを随時掲載していきます。



アクセス 駅直結！雨に濡れません！



江戸川総合人生大学事務局

〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 しのぎき文化プラザ

【TEL】 03-3676-9075 【FAX】 03-3676-6545